学校番号	３００１

令和８年度 農業科（バイオサイエンス科）

教科	農業	科目	地域資源活用	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	地域資源活用（実教出版）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

３年生の「課題研究」と同様に「バイオ生産」「食品栄養」「食品製造」「農産加工」の４つの専攻班に分かれて授業を行います。２年生で取り組んだ課題をさらに発展させ、課題を設定し、卒業論文作成に向けて栽培、調査、実験、研究などを行います。また農業の見方・考え方を働かせ，実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して，地域資源の活用に必要な資質・能力を身に付けることを目指します。

2　学習の到達目標

【知識及び技術】
自らの専攻分野に関する基礎的・基本的な知識や技術を基に、３年次の卒業研究に繋がる発展的な知識や技術を身に付けている。また地域資源の活用や農業クラブ活動について、理解を深めている。
【思考力、判断力、表現力等】
自らの専攻分野に関する諸問題やその解決や地域資源の活用を目指して思考を深め、基礎的・基本的な知識や技術を基に、適切に判断し、何が課題なのかを考え、研究の実施計画を立てられる思考力や判断力、さらに他者にも伝えられる表現力を身につけている。
【学びに向かう力、人間性等】
自らの専攻分野や地域資源の活用について関心を持ち、その改善・向上を図る実践的な能力と主体的に取り組む実践的な態度を身につけている。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	自らの専攻分野に関する基礎的・基本的な知識を基に、より深く農業の意義や役割、地域資源の活用に関して理解している。	自らの専攻分野に関する諸問題の解決や地域資源の活用を目指して思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を基に、農業に携わる者として適切に判断し、表現する創造的な能力を身につけている。	自らの専攻分野や地域資源の活用について関心を持ち、その改善・向上を目指して主体的に取り組もうとするとともに、実践的な態度を身につけている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	課題設定 課題解決に向けた取り組み 発表への取り組み	課題研究のテーマ設定 計画案の作成 実験、実習など解決に向けた取り組み 農業クラブなどへの発表	a：専門技術について理解し、発展的な知識を身に付け、農業の意義や役割、地域資源の活用を理解している。 b：専門技術についての諸課題を発見し、その改善や地域資源の活用を図るために思考を深め、適切に判断し、表現する創造的な能力を身につけている。 c：専門技術や農業クラブ、地域資源の活用について関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。	・　・　級位検定の結果 学習状況の観察	・　・　課題の内容 学習状況の観察	・　・　課題の内容 学習状況の観察
2学期	課題解決に向けた取り組み 中間報告	実験、実習など解決に向けた取り組み 実験、実習データの処理 計画のまとめ 計画の見直し	a：専門技術について理解し、発展的な知識を身に付け、農業の意義や役割、地域資源の活用を理解している。 b：専門技術についての諸課題を発見し、その改善や地域資源の活用を図るために思考を深め、適切に判断し、表現する創造的な能力を身につけている。 c：専門技術や農業クラブ、地域資源の活用について関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。	・　・　級位検定の結果 学習状況の観察	・　・　課題の内容 学習状況の観察	・　・　課題の内容 学習状況の観察
3学期	研究発表に向けた取り組み	実験、実習など解決に向けた取り組み 実験、実習データをまとめる 研究成果の発表	a：専門技術について理解し、発展的な知識を身に付け、農業の意義や役割、地域資源の活用を理解している。 b：専門技術についての諸課題を発見し、その改善や地域資源の活用を図るために思考を深め、適切に判断し、表現する創造的な能力を身につけている。 c：専門技術や農業クラブ、地域資源の活用について関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。	・　学習状況の観察	・　・　課題の内容 学習状況の観察	・　・　課題の内容 学習状況の観察

※　表中の観点について　a:知識・技術　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度